



## 病棟紹介

### 2階南病棟

**2**階南病棟は、35床のベットを持つ、産婦人科の混合病棟です。小寺主任診療部長を中心に、4人の医師と19人の看護師及び医療クラーク・病棟クラーク・担当薬剤師、各1名で外来との連携を実践しております。

いかなる時も優しさを基礎に、病院の基本理念及び基本方針・看護部の目標にそって医療に取り組んでいます。「優しい看護・ケアを提供できる」を病棟の目標に掲げ、明るいチームワークで患者様を支える看護を実践しております。

昨年固定チームが開始され、看護室入口のスタッフ紹介(写真)を更新しながら「私の担当医・私の担当看護師」がわかるようにしています。今回は「ほほえみ」と一言、言葉を添え頑張っております。入院患者様の入院形態は、個人病院様からの紹介が殆どを占めており、地域に密着した状態です。ありがとうございます

います。入院対象の婦人科患者様は、手術や化学療法及び放射線治療中心に、産科患者様はリスクがある管理入院患者様を中心にした妊婦様が常に15人いるという状態です。

ここ数年、新人助産師を迎えることができ、嬉しく思っている次第です。新人助産師が患者様一人ひとりを大切にした看護を実践し成長できるように細やかな教育プログラムを看護部と共に用意しています。看護師としての基礎をしっかりと構築し、各専門分野の知識も身につけていけるようにスタッフでバックアップする体制を強化しています。



【2階南病棟スタッフ】

### 外来

**外**来部門は1階に整形外科、2階に内科・ペイン外来・泌尿器科・皮膚科・産婦人科・耳鼻いんこう科・外科・小児科、3階に心療内科があります。ペイン外来は月・水・金の週3日診察が行われます。眼科は現在休診中で1日も早い再開が望まれています。

外来の受付時間は8:30~11:00までです。月曜の午後、糖尿病の予約外来が行われています。新患で紹介状をお持ちの方は地域医療連携室にご連絡ください。糖尿病教室もリニューアルされ、第1・2週の水・木・金曜、第3・4週の水・木・金曜と2クールで行われています。指導には医師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、検査技師、看護師があたり、糖尿病ビデオ上映・座談会なども行われています。糖尿病のしおりも改訂されています。

看護師の体制は、師長1人、副師長2人、正規看護師17人、嘱託3人、パート21人で構成されています。このうち、正規17人と嘱託2

人は救急外来の勤務にも従事します。今年6月には救急看護認定看護師も誕生しました。外来には皮膚・排泄ケア認定看護師、がん化学療法認定看護師とあわせ、3名の認定看護師が勤務しています。より専門性の高いケアの充実とスタッフ教育の充実を図り、患者様に信頼と安全・安心の医療と看護が提供できるよう心がけていきたいと思ひます。



【外来の副師長】

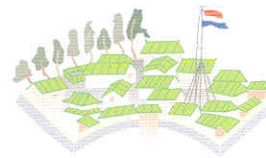


【外来の認定看護師】



【外来スタッフ】

# 部門紹介【放射線部】



こんにちは（^^）当院の放射線部を紹介いたします。

放射線部は、福田放射線主任診療部長を筆頭に、本村技師長、大久保看護師長をはじめ放射線医5名、放射線技師11名、看護師5名、内視鏡看護師3名、医療補助員（受付）5名が在籍しています。

医師、看護師、放射線技師、受付は、互いに協力しあいながらCT、MRI、RI、血管撮影、超音波検査、内視鏡検査（胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP）、各種造影検査、一般撮影、放射線治療など、画像診断にかかわる領域や放射線を扱う領域に関して幅広く日々奮闘しています。

スタッフは救急の検査・治療依頼に即座に対応できるよう当直・拘束体制をとっており、深夜・休日問わず一般撮影・CT検査はもちろん、循環器科の心臓カテーテル検査・治療

や内視鏡検査・治療などにも対応しております。

放射線部には、院内すべての科の先生方や、他院の先生方から御紹介いただく撮影や検査の依頼があります。

この広い分野に対応出来るように、各人が認定取得を目指し放射線科専門医、検診マンモグラフィー読影認定医、IVR専門医、放射線治療専門医、PET核医学認定医、検診マンモグラフィー撮影認定技師、医学物理士、第1種放射線取扱主任者、肺がんCT検診認定技師、PET核医学認定技師、医療情報技師、医用画像情報管理士、放射線機器管理士、放射線管理士、内視鏡技師、癌放射線治療認定看護師（現在研修中）などの資格を取得し、日々変化する最先端の医療技術に対応できるよう医療人としてのスキルアップを図るとともに、検査や治療時に直接接する患者様への思いやりをモットーに日々努力しております。



**病院の理念** いかなる時も優しさをモットーとして、市民の健康を守るため、地域と密接な連携のもと良質で安全な医療を提供します。



**病院の基本方針** “治す 癒す 連携する”

1. 病気を治すために必要な最新で正しい知識・技術の習得に努めます。  
（キーワード：科学的、理論的、EBM、正確、安全性、高度医療）
2. 患者さんとその周囲の人々を癒す気持ちを持ちつづけます。  
（キーワード：人間性、哲学、宗教心、暖かさ、奉仕）
3. 地域医療支援病院として、病院内外の連携を密に地域で頼れる存在であり続けます。  
（キーワード：協調性、チーム医療、連携、地域医療）

**患者さんの権利**

1. 全ての人にはその人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力のもとで、公平に良質な医療を受ける権利があります。
2. 医療を受ける際には、理解しやすい言葉や方法で、診療内容に対して十分な説明を受け、必要な場合には第三者の意見を聞くことができ、その上で治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。
3. 自分の診療記録などの開示を求める権利があります。
4. 基本的人権とプライバシーが守られる権利があります。

**患者さんの責務**

1. 医療提供者に対し、求められる情報をできるだけ正確に提供する責任と義務があります。
2. 他の患者さんの医療に支障を与えないよう配慮する責任と義務があります。





# 地域医療連携室便り

残暑厳しい毎日が続いておりますが、地域の先生方には、ご健勝のことと存じます。いつも当院にご紹介いただき心よりお礼申し上げます。

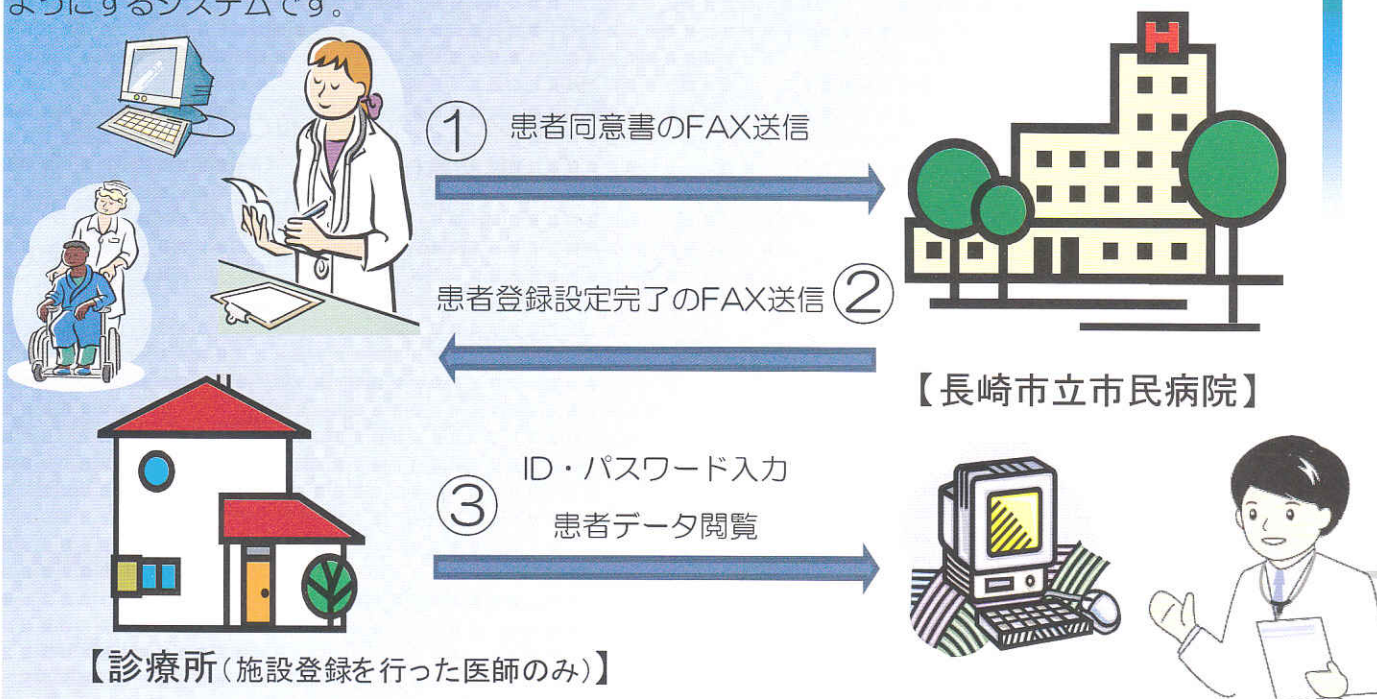
さて、当院では平成21年11月より「あじさいネット（長崎地域医療連携ネットワークシステム）」の運用を開始しております。

お陰様で、当院の登録件数も、登録施設数38施設・登録患者数445名（平成23年7月8日現在）と年々増加しております。

病診間の連携をより深めるために、「あじさいネット」への施設登録をおすすめします。今後とも地域の先生方のご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## あじさいネット（長崎地域医療連携ネットワークシステム）とは？

当院の患者さんが、かかりつけ医において安全で質の高い医療を受けられるよう、当院の診療情報を暗号化されたネットワークを使って、患者さんの同意のもと診療所や病院から閲覧できるようにするシステムです。



「あじさいネット」の問い合わせ先

◎NPO法人あじさいネットワーク事務局（長崎県医師会内）電話（095）844-1111

◎当院の担当窓口

施設登録、システムについては、医事情報課情報統計係（内線2270）

患者登録、同意書の送付などについては、地域医療連携室（内線2238）

FAX（095）821-1116



## 長崎市立市民病院

〒850-8555 長崎市新地町6-39

TEL：095-822-3251

FAX：095-826-8798

HP <http://www.nmh.jp/shiby/>



長崎 市民病院

検索

まずはクリック♪

発行・編集  
市民病院広報委員会  
広報委員長  
鈴木 伸